

【がん種】 [大腸癌](#)
 【レジメン名】 FL+Bmab②sLV5FU2
 【登録番号】 160540
 【1コースの期間】 2週間
 【総コース数】 進行・再発:PDまで
 【催吐性リスク】 軽度:5-FU、最小度:ペバシズマブ
 【抗がん剤の組織障害性】 イリタント(炎症性):5-FU、ノンビシカント(非壊死性):ペバシズマブ
 【投与量に制限のある薬剤】 なし
 【主な有害事象】 白血球減少、好中球数減少、貧血、血小板数減少、注入に伴う反応、疲労、間質性肺炎、高血圧、蛋白尿、出血、血栓塞栓症、創傷治癒遅延、消化管穿孔、悪心、嘔吐、食欲不振、口腔粘膜炎、味覚異常、下痢、便秘

【必要な検査】 編集中
 【根拠論文】 J Clin Oncol 24:3354-3360, 2006. J Clin Oncol 26:2006-2012, 2008. J Clin Oncol 26:2013-2019, 2008. J Clin Oncol 25:1539-1544, 2007. J Clin Oncol 24:394-400, 2006. J Clin Oncol 27:5727-5733, 2009.

【点滴の時間】 [day1~]初回51時間5分、2回目50時間35分、3回目50時間5分

【費用】 編集中

【その他】 対象患者:大きな手術後から28日以上経過している、2.5mL以上の鮮血の喀血がない。原則、CVポートを増設して治療を行う。
 インフューザーポンプの使用可否:CVポートを造設している、外来で治療する場合(入院導入後に外来へ移行する場合には初回入院時でも使用可能、外来に移行せずに入院で治療を継続する場合には使用不可)。
 インフューザーポンプ未使用時

インフューザーポンプ使用時

Rp	薬剤名	量	投与方法	投与時間	投与日				
					1	2	3	...	14
1	生理食塩液 250mL	1 B	メイン	キープ&フラッシュ	○				
2	生理食塩液 100mL	1 B	側管	30分	○				
	デカドロン注射液 6.6mg/2mL	1 V		フィルター使用					
3	生理食塩液 100mL	1 B	側管	フィルター使用	○				
	ペバシズマブBS点滴静注「ファイザー」	5 mg/kg							
	初回90分、2回目1時間、3回目~30分								
4	5%ブドウ糖液 250mL	1 B	側管	2時間	○				
	レボホリナート点滴静注用「ヤクルト」	200 mg/m2		フィルター使用					
5	生理食塩液 50mL	1 B	側管	全開	○				
	5-FU注	400 mg/m2		フィルター使用					
6	5-FU注	2400 mg/m2	側管	46時間	○				
				インフューザーポンプ使用					

インフューザーポンプ未使用時

Rp	薬剤名	量	投与方法	投与時間	投与日				
					1	2	3	...	14
1	生理食塩液 250mL	1 B	メイン	キープ&フラッシュ	○				
2	生理食塩液 100mL	1 B	側管	30分	○				
	デカドロン注射液 6.6mg/2mL	1 V		フィルター使用					
3	生理食塩液 100mL	1 B	側管	フィルター使用	○				
	ペバシズマブBS点滴静注「ファイザー」	5 mg/kg							
	初回90分、2回目1時間、3回目~30分								
4	5%ブドウ糖液 250mL	1 B	側管	2時間	○				
	レボホリナート点滴静注用「ヤクルト」	200 mg/m2		フィルター使用					
5	生理食塩液 50mL	1 B	側管	全開	○				
	5-FU注	400 mg/m2		フィルター使用					
6	生理食塩液 500mL	1 B	側管	46時間	○				
	5-FU注	2400 mg/m2		フィルター使用					
7	生理食塩液 100mL	1 B	メイン	キープ&フラッシュ	○				